

平成22年度 教科に関する研究
研究主題「思考力，判断力，表現力をはぐくむ学習指導」

国 語

読んで考えて表現する国語科授業の創造



目 次

1 主題について	1
2 授業研究	4
【授業研究 1】 小学校第 4 学年「登場人物の気持ちの変化をとらえよう」 『夏のわすれもの』	4
【授業研究 2】 中学校第 1 学年「主題を考えよう」 『少年の日の思い出』	10
【授業研究 3】 高等学校第 3 学年現代文 「登場人物の心情や状況を客観的にとらえよう」 『形』	16
【授業研究 4】 小学校第 6 学年「新聞記事の事実をおさえて、自分の考えをもと う」 『乗り過ごし副検事，特急止める』 『J R 快速が温情停車，乗り間違え受験生救う』 --	22
3 研究のまとめ	28

1 主題について

(1) 研究の指針

思考力、判断力、表現力をはぐくむ国語科の授業づくりについては、その根底となる考えとして、読解力向上に関する指導資料（平成17年12月、文部科学省）において、「テキストを利用して自分の考えを書くことが求められる。テキストの内容を要約・紹介したり、再構成したり、自分の知識や経験と関連付け意味付けたり、自分の意見を書いたり、論じさせたりするなどの機会を設けることが重要である。」と示された。

また、新学習指導要領解説においても、次のように、

・国語科については、（中略）言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。

（小学校学習指導要領解説 国語編 平成20年8月，中学校学習指導要領解説 国語編 平成20年9月，高等学校学習指導要領解説 国語編 平成22年6月）

・「国語総合」は、（中略）文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりする能力を育成することや、我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度の育成を通して、感性や情緒をはぐくむことを重視する。

（高等学校学習指導要領解説 国語編 平成22年6月）

・「現代文B」は、（中略）読む能力のみならず、読んだことをもとにして考え、判断・評価し、それをまとめて論理的に表現する能力を育成するとともに、文字・活字文化に対する理解が深まるようにする。

（高等学校学習指導要領解説 国語編 平成22年6月）

（ ～ は、本資料作成者によるもの）

「言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する」、「文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりする」、「読んだことをもとにして考え、判断・評価し、それをまとめて論理的に表現する」など、読解力向上に関する指導資料と同様の方向性が示されている。

これらを受け、平成22年度学校教育指導方針（茨城県教育委員会）においても、小・中学校では「読んで書く力の育成」を、高等学校では「論理的に思考し表現する能力の育成」を国語科の重点として掲げている。さらに、具現化のための取組として、「文章や資料を読んで考えたことを（中略）文章などで表現する」、「文章や資料を読んで考えたことをもとに、文章を書く」、「自分の考えを筋道立てて文章にまとめたり、根拠をもって発表したりする」学習を充実させることを併せて述べている。

以上のことから、思考力、判断力、表現力をはぐくむためには、読んだことを基にして、論理的に思考し、再構成したり、論じたりすることを通して、論理的に表現する授業を、各学年の指導事項に即して構築していくことが大切であると考え、本主題を設定した。

(2) 「読んで考えて表現する」の捉え

各学年の指導事項及び本資料巻末の《参考資料》を踏まえ、児童生徒に身に付けさせたい内容を次のように捉えた。

校種		学 年	読んで	考えて —何について考えるのか?—	表現する —どう書くのか?—
小 学 校	小	第1学年 及び 第2学年	・時間の順序 ・事柄の順序 ・文章 表現上の順序 ・場面の様子 ・時間 や場所 ・登場人物の行動	・解釈する ・理解する ・着目する	・書き抜く ・書き加える ・書き換える ・続きを書く ・自分の表現に生かす
		第3学年 及び 第4学年	・段落相互の関係 ・内容の中心 ・登場人物の性格 ・気持ちの変化 ・登場人物同士の関係と役割 ・人物 や情景の描写などの表現 ・事柄の相 互の関連	・分析する ・解釈する ・とらえる ・把握する	
	校	第5学年 及び 第6学年	・文章に書かれている話題 ・表現の 仕方 ・理由や根拠 ・構成の仕方 や巧みな叙述 ・編集の仕方 ・記事の 書き方 ・感想や意見, 判断や主張 ・登場人物の人物像 ・象徴性や暗示 性の高い表現 ・表現法の妥当性	・評価する ・批判する	
中 学 校	中	第1学年	・文章の構成や展開 ・表現の特徴 ・書き手のものの見方や考え方 ・形 態 ・根拠の適否や筋道の妥当性	・批判する ・分析する	・再構成する
		第2学年	・文章の構成や展開 ・内容や順序の 説得力 ・具体的な例の役割 ・書き 手の目的や意図 ・書き方の効果 ・書き手の思いや価値観 ・表現の仕 方 ・描写の効果 ・登場人物の心情 ・科学的な知識や情報との対応 ・引 用や数値の正確性 ・筆者の表現意図	・評価する ・批判する ・分析する ・客観的, 分 析的に読む ・解釈する ・検討する	・書き換える ・置き換える ・賛否を明確にする ・問題点を指摘する
	校	第3学年	・構成や展開・内容 ・書き手の意図 と表現の仕方 ・形式の特徴や効果 ・登場人物の生き方 ・語句や描写の 効果 ・報道の仕方 ・主張の信頼性 や客観性 ・論理的な思考の確かさ ・映像表現の特徴や制作者の意図 ・メディアが形作る「現実」 ・語句 の効果的な使い方 ・筆者の意見, 主 張 ・事例や筋道の妥当性		・考えを再構築する ・論じる ・批評する
高 等 学 校			・表現の特色 ・人物個々の心情の変 化 ・人物相互の関係の変容 ・内容 や表現の仕方 ・文章の構成や展開の 仕方, 要旨 ・書き手の意図, 考え ・段落相互の関係 ・情報 ・メディ アの特徴 ・ものの見方, 感じ方, 考 え方, 生き方 ・情景, 人物の心情の 推移	・評価する ・分析する ・客観的, 分 析的に読む ・比較する ・考察する ・読み比べる	・書き換える ・置き換える ・書き分ける ・要約する ・詳述する ・翻案する ・批評する ・論じる ・編集する

(3) 授業研究における「読んで考えて表現する」児童生徒の姿

		読んで	考えて	表現する
文学的な文章	【授業研究1】 第4学年 ----- 登場人物の気持ちの変化をとらえよう 「夏のわすれもの」 小学校	まさるの気持ちの変化を想像しながら、物語の盛り上がりを読み取っている。	まさるの気持ちを表すキーワードやその出現回数の変化に着目し、理由や意味を考えている。	まさるの気持ちを表すキーワードの意味や数量を意識して、1年後のまさるの様子を書いている。
	【授業研究2】 第1学年 ----- 主題を考えよう 「少年の日の思い出」 中学校	「僕」と「エーミール」の心情や様子を読み取っている。	「僕」の「後悔」の矛盾点について考えている。	「僕」の「後悔」が、「僕が犯したすべての行為」に起因しているという立場から作品を書き換えている。
	【授業研究3】 第3学年 ----- 登場人物の心情や状況を客観的にとらえよう 「形」 高等学校	中村新兵衛の心情や場面の展開から、命を落とすまでに至った原因を読み取っている。	中村新兵衛に最期が訪れた原因を人間の「外見」や「内実」から考えている。	中村新兵衛が命を落とさずに済むという結末を考え、観点に従って作品を書き換えている。
新聞	【授業研究4】 第6学年 ----- 新聞記事の事実をおさえて、自分の考えをもとう 「乗り過ごし副検事、特急止める」 「JR快速が温情停車、乗り間違え受験生救う」 小学校	書かれている出来事の内容と状況をとらえ、二つの新聞記事に対する印象や感想をまとめている。	二つの新聞記事を比べ、ほぼ同様の出来事であるにもかかわらず、印象や感想が異なってしまう理由について考えている。	否定的にとらえられてしまう新聞記事を、共感的な印象や感想がもてる記事に書き換えている。

2 授業研究

【授業研究 1】 小学校第 4 学年「登場人物の気持ちの変化をとらえよう」 『夏のわすれもの』

1 目標

- 場面にまたがって繰り返し出てくる言葉（キーワード）とまさるの気持ちの変化の関係をとらえようとする。
- まさるの気持ちの変化や成長を叙述を基に読み取ることができる。
- キーワードとまさるの気持ちとの関係を踏まえながら、1年後のまさるの様子を書くことができる。
- 本文中の言葉は、登場人物の気持ちや場面の様子を表すために、意図的に使われていることに気付くことができる。

2 授業の実際

【読んで】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点
一	1	1 題名から想像できることを発表する。 2 作品を通読する。 3 各場面の様子を表す挿し絵を並び換え、作品の内容や場面の移り変わりを大まかにつかむ。	
二	1 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「夏休み」の中でもいつ頃からいつ頃までの話なのか、表現を手がかりに解き明かそう。</p> </div> 1 時期を想定できる表現を抜き出し、ワークシートに整理しながら、夏休み中のどの時期を取り上げた話なのかを考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈着目させたい表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い暑い日だった ・かけだした ・げんかん先に ・夜 ・おそうしきも暑い日だった ・それから一週間がたち ・夏休みも残り少なくなった ・部屋を飛び出した </div> ・夏休み中の 4 日（暑い暑い日、おそうしきの日、おそうしきから一週間たった日、夏休みも残り少なくなった日）を取り上げて描いていることを押さえる。

2 場面の分かれ目について確認する。

3 主人公を確認する。

〈場面の分かれ目を考える際の視点〉

- ・「時」, 「場所」の変わる場所

〈主人公をとらえる際の視点〉

- ・事件や出来事に積極的にかかわっている人物
- ・事件や出来事を通して最も変化, 成長している人物
- ・具体的に描写されている回数が多い人物

【使用したワークシート（形式）】

							場面
							いつ
							どこで
							だれが

〈カレンダー〉

			7/21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
8/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3
4
5
6

まさるの気持ちの変化を読み取ろう。

- 1 家を出るまでのまさるの気持ちと川で遊ぶまさるの気持ちを読み取る。
- 2 おじいちゃんの死に直面したときのまさるの気持ちとおじいちゃんの死後しばらくしてからのもさるの気持ちを読み取る。
- 3 ひまわり畑でのまさるの気持ちを読み取る。

〈気持ちを考える際の視点〉

- ・気持ちを直接表す言葉
- ・様子を表す言葉
- ・動きを表す言葉
- ・会話文
- ・情景描写

【考えて】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点																
三	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">文章中に繰り返し出てくる言葉を書き抜こう。</p> </div> <p>1 いくつかの場面にまたがって、繰り返し出てくる「キーワード」を書き抜く。</p> <p>2 書き抜いた「キーワード」を類型化し、見出しを付ける。</p>	<p>・ 文章には、登場人物の気持ちの変化を想像できる「キーワード」があることを知らせ、次のことを押さえた上で書き抜かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">〈キーワードを書き抜く際の視点〉</p> <p>・ いくつかの場面にまたがって、繰り返し出てくる言葉</p> <p>・ 作者が伝えたいことを伝えるために使っている大切な言葉</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">〈書き抜かせたいキーワード〉</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ 暑い</td> <td style="width: 50%;">・ ドリル</td> </tr> <tr> <td>・ えん筆</td> <td>・ セミ</td> </tr> <tr> <td>・ 草取り</td> <td>・ いっちゃん</td> </tr> <tr> <td>・ 川</td> <td>・ うき輪</td> </tr> <tr> <td>・ 岩</td> <td>・ 麦わらぼうし</td> </tr> <tr> <td>・ ひまわり</td> <td>・ お母さん</td> </tr> <tr> <td>・ かずえ</td> <td>・ お父さん</td> </tr> <tr> <td>・ おばあちゃん</td> <td>・ おじいちゃん</td> </tr> </table> </div> <p>・ キーワードとなる言葉を類型化する際には、「まさるにとって、どのような意味をもつ言葉なのか。」という視点で類型化しながら見出しを付ける。</p> <p>・ うまく類型化できない場合には、「『ドリル』、『うき輪』、『麦わらぼうし』」を例示として挙げる。</p>	・ 暑い	・ ドリル	・ えん筆	・ セミ	・ 草取り	・ いっちゃん	・ 川	・ うき輪	・ 岩	・ 麦わらぼうし	・ ひまわり	・ お母さん	・ かずえ	・ お父さん	・ おばあちゃん	・ おじいちゃん
・ 暑い	・ ドリル																		
・ えん筆	・ セミ																		
・ 草取り	・ いっちゃん																		
・ 川	・ うき輪																		
・ 岩	・ 麦わらぼうし																		
・ ひまわり	・ お母さん																		
・ かずえ	・ お父さん																		
・ おばあちゃん	・ おじいちゃん																		

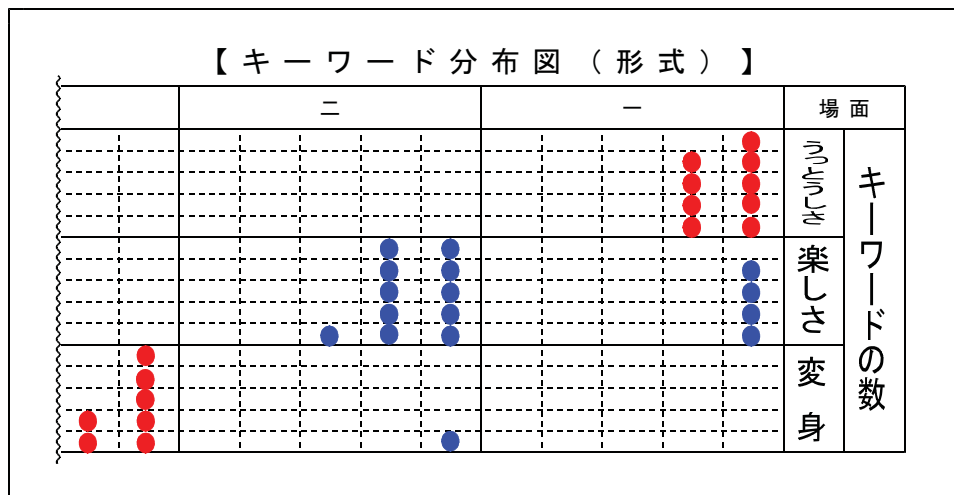
【児童が類型化した見出しとキーワード】

- ① まさるにとっての「うっとうしさ」をイメージさせるキーワード
 - ・ 暑い ・ ドリル ・ えん筆 ・ セミ ・ 草取り
 - ・ お母さん ・ かずえ
- ② まさるにとっての「楽しさ」をイメージさせるキーワード
 - ・ いっちゃん ・ 川 ・ うき輪 ・ 岩
- ③ まさるの「変身」をイメージさせるキーワード
 - ・ 麦わらぼうし ・ ひまわり ・ お父さん
 - ・ おばあちゃん ・ おじいちゃん

2

「キーワード分布図」を作ろう。

- 1 各場面ごとに、出てくるキーワードやそのキーワードの出現回数を確認しながら、ワークシートに整理する。



3

キーワード分布図とまさるの気持ちを比べよう。

- 1 キーワードの変化について気付いたことを発表する。

〈変化を考える際の視点〉

- ・場面ごとに分かること
- ・前の場面と比べて分かること
- ・全体を通して変わり方で分かること

【児童の主な発言】

- ・第1場面では、「うとうしさ」を表すキーワードが最も多い。
- ・第2場面では、「うとうしさ」を表すキーワードが一つもなく、楽しさを表すキーワードがすごく増えている。
- ・第3場面では、「楽しさ」を表すキーワードが一つもなく、まさるの「変身」にかかわるキーワードが増えている。
- ・第4場面では、どのキーワードも極端に減っている。
- ・第5場面では、まさるの「変身」にかかわるキーワードが増え、「楽しさ」を表すキーワードが一つもない。
- ・第6場面では、どのキーワードもすごく増えている。その中でも、まさるの「変身」にかかわるキーワードが最も多い。
- ・第7場面では、「うとうしさ」を表すキーワードが一つもなく、まさるの「変身」にかかわるキーワードがさらに増えている。
- ・「変身」のキーワードが一番多いのが第7場面である。
- ・「うとうしさ」や「楽しさ」を表すキーワードは、場面によって増えたり減ったり、なくなってしまったりする場面もあるのに、まさるの「変身」にかかわるキーワードは、どの場面にもあり、第4場面からはどんどん増え続けている。

2 キーワード分布図とまさるの気持ちを比べて気付いたことをワークシートに書く。

・板書は、キーワード分布図とまさるの気持ちを上下に並べる形で構成し、それぞれの関係をとらえやすくする。

【板書】

キーワード分布図とまさるの気持ちを比べて気付いたこと

キーワード分布図を拡大したもの

キーワードの変化について気付いたこと

第七場面	第六場面	第五場面	第四場面	第三場面	第二場面	第一場面
------	------	------	------	------	------	------

場面ごとのまさるの気持ち

「夏のわすれもの」

キーワード分布図とまさるの気持ちを比べてよう。

（キーワード）

うつつうしい

楽しさ

変身

福田 岩緒

3 ワークシートに書いたことを基に、グループで考えをまとめる。

【児童の主な発言】

- ・場面ごとのまさるの気持ちとキーワードの出現回数や見出しが一致する。
- ・場面の移り変わりとともに変化するまさるの気持ちとキーワードの分布状況が一致する。
- ・キーワードの分布について考えると主人公の気持ちの変化や物語の盛り上がり分かる。
- ・キーワードは、中心人物がどのように変身していくかを伝えるために使われている。

4 グループごとの考えを発表し、交流する。

【表現する】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点												
四	1 2	<p>「1年後のまさる」を書こう。</p> <p>1 「1年後のまさる」の様子を明確にした上で、「1年後のまさる」を書く。</p>	<p>・根拠を明らかにして、「1年後のまさる」を具体的に設定できるように、自分の考えを整理できるワークシートを用意する。</p> <p>・書く際には、選んだ立場に応じて、それに合うキーワードを入れながら書く。</p>												
<p>【使用したワークシート】</p>															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>○「どんなじょうきょうで、どんなことをしているまさる」を書こうと思いますか。</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>○右の立場を選んだ理由を書きましょう。(作品の中に出て理由を書きましょう。)</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>・ひまわりのような人になれている。 ・ひまわりのような人になれていない。</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p>○あなたはどちらの立場で書きますか。あてはまるほうに○をつけましょう。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>【児童が書いた「1年後のまさる」】</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ひまわりのような人になれていない立場</p> <p>次の年の夏休み、去年と変わらず、ぼくは宿題のドリルが終わっていない。ひまわりを見てもまるでやる気が起らない。もういやだ！そう思ったら、つくえの横にあるうき輪が目に入った。そのとき、タイミングよくいつちゃんが来た。 「まさる、川へ行こうよ。」ぼくはすぐに「いいよ。」と答え、もうスピードでじゅんびした。庭で草取りをしていたかずえにみつからないように「こそ」と川へ出かけた。家へ帰ってきたのは夕方おそくだった。帰ってきたぼくを見たお母さんがぼくを怒らした。 「まさる！宿題がまだ残ってるんでしょ！川へ遊びに行くのもいいかげんにしなさい！」 ぼくは何も答えず、自分の部屋に行き、その後、家族と一言も話さなかった。 けっきょく、残りの日もぼくはあい変わらず、ふんすい岩通いを続けた……。 そして二学期。ぼくはテストで0点をとり、じゅくへ行かされるはめになった……。</p> </td> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ひまわりのような人になれた立場</p> <p>あれから一年……。今日も暑い、暑い日だ。そんな中、ぼくはセミの声にも負けず、ドリルをいっしょけんめいやっている。今年の夏は、自分一人でもドリルを進められるように計画を立ててがんばっている。庭ではかずえとおばあちゃんがひまわりのさいている花壇の草取りをしている。 (ドリルが終わったら手伝うからね。) 二時間後、やつと今日の分のドリルが終わった。そのとき、いつちゃんの家に来た。川遊びのさそいだった。ぼくは、家の手伝いをしてから行くことを伝えた。麦わらぼうしをかぶり庭に出ると二人はあせさず草取りをしていた。ぼくを見た二人の顔はなぜか「こり」と出かけた。草取りを終え、麦わらぼうしをかぎつたまま川へと出かけた。ひまわり畑を見に行ったら、ひまわりは太陽の方を見ている。ぼくもひまわりのように太陽を見た。すると、大好きなおじいちゃんの声が聞こえた気がした……。</p> </td> </tr> </table>				<p>○「どんなじょうきょうで、どんなことをしているまさる」を書こうと思いますか。</p>	<p>○右の立場を選んだ理由を書きましょう。(作品の中に出て理由を書きましょう。)</p>	<p>・ひまわりのような人になれている。 ・ひまわりのような人になれていない。</p>	<p>○あなたはどちらの立場で書きますか。あてはまるほうに○をつけましょう。</p>	<p>【児童が書いた「1年後のまさる」】</p>				<p style="text-align: center;">ひまわりのような人になれていない立場</p> <p>次の年の夏休み、去年と変わらず、ぼくは宿題のドリルが終わっていない。ひまわりを見てもまるでやる気が起らない。もういやだ！そう思ったら、つくえの横にあるうき輪が目に入った。そのとき、タイミングよくいつちゃんが来た。 「まさる、川へ行こうよ。」ぼくはすぐに「いいよ。」と答え、もうスピードでじゅんびした。庭で草取りをしていたかずえにみつからないように「こそ」と川へ出かけた。家へ帰ってきたのは夕方おそくだった。帰ってきたぼくを見たお母さんがぼくを怒らした。 「まさる！宿題がまだ残ってるんでしょ！川へ遊びに行くのもいいかげんにしなさい！」 ぼくは何も答えず、自分の部屋に行き、その後、家族と一言も話さなかった。 けっきょく、残りの日もぼくはあい変わらず、ふんすい岩通いを続けた……。 そして二学期。ぼくはテストで0点をとり、じゅくへ行かされるはめになった……。</p>		<p style="text-align: center;">ひまわりのような人になれた立場</p> <p>あれから一年……。今日も暑い、暑い日だ。そんな中、ぼくはセミの声にも負けず、ドリルをいっしょけんめいやっている。今年の夏は、自分一人でもドリルを進められるように計画を立ててがんばっている。庭ではかずえとおばあちゃんがひまわりのさいている花壇の草取りをしている。 (ドリルが終わったら手伝うからね。) 二時間後、やつと今日の分のドリルが終わった。そのとき、いつちゃんの家に来た。川遊びのさそいだった。ぼくは、家の手伝いをしてから行くことを伝えた。麦わらぼうしをかぶり庭に出ると二人はあせさず草取りをしていた。ぼくを見た二人の顔はなぜか「こり」と出かけた。草取りを終え、麦わらぼうしをかぎつたまま川へと出かけた。ひまわり畑を見に行ったら、ひまわりは太陽の方を見ている。ぼくもひまわりのように太陽を見た。すると、大好きなおじいちゃんの声が聞こえた気がした……。</p>	
<p>○「どんなじょうきょうで、どんなことをしているまさる」を書こうと思いますか。</p>	<p>○右の立場を選んだ理由を書きましょう。(作品の中に出て理由を書きましょう。)</p>	<p>・ひまわりのような人になれている。 ・ひまわりのような人になれていない。</p>	<p>○あなたはどちらの立場で書きますか。あてはまるほうに○をつけましょう。</p>												
<p>【児童が書いた「1年後のまさる」】</p>															
<p style="text-align: center;">ひまわりのような人になれていない立場</p> <p>次の年の夏休み、去年と変わらず、ぼくは宿題のドリルが終わっていない。ひまわりを見てもまるでやる気が起らない。もういやだ！そう思ったら、つくえの横にあるうき輪が目に入った。そのとき、タイミングよくいつちゃんが来た。 「まさる、川へ行こうよ。」ぼくはすぐに「いいよ。」と答え、もうスピードでじゅんびした。庭で草取りをしていたかずえにみつからないように「こそ」と川へ出かけた。家へ帰ってきたのは夕方おそくだった。帰ってきたぼくを見たお母さんがぼくを怒らした。 「まさる！宿題がまだ残ってるんでしょ！川へ遊びに行くのもいいかげんにしなさい！」 ぼくは何も答えず、自分の部屋に行き、その後、家族と一言も話さなかった。 けっきょく、残りの日もぼくはあい変わらず、ふんすい岩通いを続けた……。 そして二学期。ぼくはテストで0点をとり、じゅくへ行かされるはめになった……。</p>		<p style="text-align: center;">ひまわりのような人になれた立場</p> <p>あれから一年……。今日も暑い、暑い日だ。そんな中、ぼくはセミの声にも負けず、ドリルをいっしょけんめいやっている。今年の夏は、自分一人でもドリルを進められるように計画を立ててがんばっている。庭ではかずえとおばあちゃんがひまわりのさいている花壇の草取りをしている。 (ドリルが終わったら手伝うからね。) 二時間後、やつと今日の分のドリルが終わった。そのとき、いつちゃんの家に来た。川遊びのさそいだった。ぼくは、家の手伝いをしてから行くことを伝えた。麦わらぼうしをかぶり庭に出ると二人はあせさず草取りをしていた。ぼくを見た二人の顔はなぜか「こり」と出かけた。草取りを終え、麦わらぼうしをかぎつたまま川へと出かけた。ひまわり畑を見に行ったら、ひまわりは太陽の方を見ている。ぼくもひまわりのように太陽を見た。すると、大好きなおじいちゃんの声が聞こえた気がした……。</p>													

3 成果

- ・主人公の気持ちを表す「キーワード」に着目しながら考える学習を行ったことで、情景の移り変わりとともに、主人公の変化する気持ちをとらえることができた。
- ・「キーワード」の意味やその出現回数の変化について考えたことで、叙述を基に想像豊かに読むことができた。
- ・「キーワード分布図」を作成したことで、主人公の成長を具体的にとらえることができた。

4 課題

- ・高学年の指導事項を見据え、表現や内容を評価し、自分の表現に生かす学習に発展させていく必要がある。
- ・登場人物の気持ちの変化をとらえるための多様な視点について、更に検討していく必要がある。

【授業研究2】中学校第1学年「主題を考えよう」 『少年の日の思い出』

1 目標

- 互いの読みを進んで交流し，作品を読み深めようとする。
- 登場人物の会話や行動などの描写に注意して作品を読むことができる。
- 作品を読み進めるために必要な語句の辞書的な意味を踏まえ，文脈上の意味を考えることができる。

2 授業の実際

【読んで】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点											
一	1	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">作品の内容の大体をとらえよう。</p> <p>1 作品を通読し，登場人物や出来事を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈登場人物〉 ・わたし ・僕（＝客，友人） ・エーミール</p> <p>〈出来事〉 ・「僕」が捕まえた珍しいチョウをエーミールに酷評される。 ・「僕」が自分の犯した罪をエーミールに謝罪に行く。 ・「僕」が自分のチョウを粉々に押しつぶす。</p> </div> <p>2 作品を読み進めていくために必要となる語句の意味を調べる。</p>	<p>・生徒の発言を基に登場人物の関係を図示し，関係を正しくとらえられるようにする。</p>											
	2	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">作品を読んで，「僕」とエーミールに対する印象を話し合おう。</p> <p>1 作品を読んで，「僕」とエーミールに対する印象をまとめ，友達と話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>【生徒のもった印象】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>「僕」に対する印象</th> <th>エーミールに対する印象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">+</td> <td>(9人) ・「自分がチョウを壊した」と，エーミールに話すことができたから。 ・大人になった「僕」は，過去の過ちを反省することができたから。</td> <td>(4人) ・「僕」が台無しにしてしまったチョウを繕うために努力していたから。 ・大切なチョウを壊されても冷静にしている，心が大人だから。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">±</td> <td>(14人) ・盗みをしてしまったが，自分が犯した罪を償ったから。</td> <td>(11人) ・「僕」にあれだけ怒る気持ちには分かるけれど，言い過ぎだと思うから。 ・「僕」にひどいことを言っているが，正論だから。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>(11人) ・チョウを盗み，バラバラにしてしまったから。 ・物をあげることで自分が犯した罪を償おうとしたから。</td> <td>(19人) ・言っている言葉は心がなく，冷たいと感じたから。 ・他人のチョウを酷評し，「僕」が謝ってもいっこうに許そうとしなかったから。</td> </tr> </tbody> </table> </div>		「僕」に対する印象	エーミールに対する印象	+	(9人) ・「自分がチョウを壊した」と，エーミールに話すことができたから。 ・大人になった「僕」は，過去の過ちを反省することができたから。	(4人) ・「僕」が台無しにしてしまったチョウを繕うために努力していたから。 ・大切なチョウを壊されても冷静にしている，心が大人だから。	±	(14人) ・盗みをしてしまったが，自分が犯した罪を償ったから。	(11人) ・「僕」にあれだけ怒る気持ちには分かるけれど，言い過ぎだと思うから。 ・「僕」にひどいことを言っているが，正論だから。	-	(11人) ・チョウを盗み，バラバラにしてしまったから。 ・物をあげることで自分が犯した罪を償おうとしたから。	(19人) ・言っている言葉は心がなく，冷たいと感じたから。 ・他人のチョウを酷評し，「僕」が謝ってもいっこうに許そうとしなかったから。
	「僕」に対する印象	エーミールに対する印象												
+	(9人) ・「自分がチョウを壊した」と，エーミールに話すことができたから。 ・大人になった「僕」は，過去の過ちを反省することができたから。	(4人) ・「僕」が台無しにしてしまったチョウを繕うために努力していたから。 ・大切なチョウを壊されても冷静にしている，心が大人だから。												
±	(14人) ・盗みをしてしまったが，自分が犯した罪を償ったから。	(11人) ・「僕」にあれだけ怒る気持ちには分かるけれど，言い過ぎだと思うから。 ・「僕」にひどいことを言っているが，正論だから。												
-	(11人) ・チョウを盗み，バラバラにしてしまったから。 ・物をあげることで自分が犯した罪を償おうとしたから。	(19人) ・言っている言葉は心がなく，冷たいと感じたから。 ・他人のチョウを酷評し，「僕」が謝ってもいっこうに許そうとしなかったから。												

3

「僕」とエーミールのチョウに対する考え方の違いを読み取ろう。

- 1 二人のチョウへの思いや考え方が分かる描写を叙述に即して抜き出し、その違いをまとめ、友達と話し合う。

- ・二人のチョウへの思いや考え方が分かる描写を抜き出し、描かれている人物像について深く考えられるようにする。
- ・「僕」とエーミールのチョウに対する思いや考え方の違いをとらえることを通して「僕」のエーミールに対する思いにも触れられるようにする。

【生徒がとらえた描写と「僕」とエーミールの違い】

「僕」	エーミール
<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯のとりこ ・ほかのことは、すっかりすっぼかしてしまった。 ・みんなは僕にそれをやめさせねばなるまいと考えた。 ・熱情 ・むさぼるような、うっとりした感じ ・宝、宝物 ・特別に珍しいのではなくたって構わない ・捕らえる喜びに息もつまりそう ・緊張と歓喜 ・激しい欲望 	<ul style="list-style-type: none"> ・手入れが正確 ・宝石のよう ・傷んだり壊れたりしたチョウの羽をつぎ合わす非常に難しい技術を心得ていた。 ・専門家らしく ・鑑定 ・20ペニヒぐらいの現金の値打ち ・値踏み ・こっぴどい批評家

- ・「僕」にとってチョウは特別で、大切な物（宝物）だけど、エーミールはチョウの状態やその値段、価値でしか見ていない。
- ・「僕」にとってチョウは、宝物であり、最高の遊びである。だから、とらえられるなら何でも構わない。しかし、エーミールにとってチョウは、宝物であり、楽しむよりも価値の方が大切だと考えていた。

4

「僕」がエーミールに謝ることができなかった理由を読み取ろう。

- 1 「僕」が、エーミールのどぶえにとびかかろうとするまでの二人の描写を叙述に即して抜き出す。

- ・ほとんどの生徒が「『僕』は自分が犯した罪をエーミールに謝った。」ととらえていることから、それとは対立する内容を学習課題とすることで、作品を分析的に読むことができるようにする。
- ・「僕」の会話や行動などの描写から、チョウを盗んだことよりもチョウをばらばらにしてしまったことを後悔する気持ちが強いことを読み取れるようにする。

【生徒がとらえた「僕」とエーミールの描写】

「僕」	エーミール
<ul style="list-style-type: none"> ・出かける気になれなかった。 ・そのチョウを見せてくれと頼んだ。 ・それは僕がやったのだと言い、詳しく話し、説明しようと試みた。 ・おもちゃをみんなやると言った。 ・チョウの収集を全部やると言った。 ・すんでのところであいつのどぶえに飛びかかろうとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それを繕うために努力した。 ・低く、ちえっと舌を鳴らし、しばらくじっと僕を見つめていた。 ・舌を鳴らす。 ・「そうか、そうか、つまり君はそういうやつなんだな。」 ・冷淡に構え、依然僕を軽蔑的に見つめていた。 ・「けっこうだよ。…中略…できたさ。」

2 「僕」がエーメールに謝れなかった理由をまとめ、友達と話し合う。

【生徒がまとめた「謝れなかった理由」】

- ・「盗みをしたという気持ちより、自分がつぶしてしまった美しいチョウを見ている方が、僕の心を苦しめた。」とあるので、エーメールに対しては、失ったチョウの分を何かでつぐなえばいいくらいにしか考えていなかったんだと思う。
- ・「僕」が自分の犯した罪を謝れなかった理由は、相手がエーメールだったからということではないと思う。相手がだれであろうとも、間違いを素直に謝ることのできない子なのだと思う。
- ・「僕」は、つぶしてしまったチョウには申し訳ないと思っているが、「僕」の言うことを分かってくれないし、全然信じようとしないエーメールには申し訳ないと思っていないから謝らなかったのだと思う。

5

「僕」は、どんな思いから自分のチョウを粉々に押しつぶしたのだろう。

1 チョウを粉々に押しつぶしたときの「僕」の気持ちが分かる描写を作品中から抜き出す。

- ・前時の学習で、生徒の「僕」に対する印象が変化してきたことから、「チョウを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった」行為の意味を考えさせることで、「僕」という人物について更に深く考えられるようにするとともに、主題を考えられるようにする。

【生徒がとらえた描写】

- ・初めて僕は、一度起きたことは、もう償いのできないものだということを悟った。
- ・闇の中 ・一つ一つ ・粉々に ・押しつぶす

2 自分のチョウを粉々に押しつぶした「僕」の思いをまとめ、友達と話し合う。

【生徒がまとめた「『僕』の思い」】

- ・償いのできない原因になったチョウのことを早くわすれたいという気持ちと、自分にはもうチョウを集める資格はないという気持ちがあったと思う。
- ・「僕」は、エーメールのチョウを壊してしまった時、自分の罪を軽く考えていた。だが、最後には自分の罪は償いのできないものと知り、自分の行動に後悔し、チョウを粉々にしたのだと思う。
- ・エーメールのチョウを壊してしまったことは、償いのできないこととはいえ、少しでも償えたらと思い、一つ一つ後悔と反省を込めて押しつぶしてしまったのだと思う。
- ・自分の行いを後悔し、自分に対する罰と、罪の償いとして、自分を責め、チョウを一つ一つ粉々につぶしたのだと思う。
- ・一度起きたことは、もう償いのできないものだけれど、エーメールのクジャクヤマユをつぶしたことを後悔し、自分だけの償いのためにつぶしたのだと思う。また、この思い出を消し去りたいという思いもあってつぶしたのだと思う。
- ・「僕」は自分が犯した罪を後悔してチョウをつぶしたんだと思う。それに闇の中でつぶしたのだから、「僕」にとってとてもつらいことだったと思う。

【考えて】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点
二	1	<p>「僕」は自分が犯した罪を本当に後悔したのだろうか。</p> <p>1 「僕」が犯した罪を確認する。</p> <div data-bbox="379 501 1337 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p align="center">【「僕」が犯した罪についての生徒の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エーミールのチョウをばらばらにしたこと。 ・ エーミールのチョウを盗んだこと。 ・ エーミールのチョウを盗み、ばらばらにしたこと。 ・ エーミールを傷つけたこと。 </div> <p>2 「僕」が、何を後悔しているのかを考える。</p> <div data-bbox="379 909 1337 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p align="center">【生徒がまとめた「『僕』の後悔の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「盗みをしたという気持ちより、自分がつぶしてしまった美しい珍しいチョウを見ているほうが、僕の心を苦しめた。」というところから、<u>つぶしてしまったことだけを後悔している。</u> ・ エーミールに、自分が犯した罪を素直に謝れなかったのだから、チョウをばらばらにしてしまったことは後悔しているかもしれないが、<u>盗んだことはあまり後悔していない。</u> ・ エーミールのチョウを盗んだことを謝ろうとはしていないから、<u>珍しいチョウをつぶしてしまったことだけを後悔している。</u> ・ <u>最後に自分の宝物のチョウを、自分で粉々に押しつぶしたんだから、全てのことを後悔している。</u> ・ チョウを盗んで、つぶしてしまったことは後悔していると思うが、<u>エーミールを傷つけてしまったことは後悔していないと思う。</u> ・ <u>最後に自分のチョウをつぶしたのは、自分だけの償いのためで、エーミールのことはあまり考えていないと思う。</u> </div> <p>3 「僕」がすべてを後悔したように書き換えたい箇所を考える。</p> <div data-bbox="379 1541 1337 1977" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p align="center">【「僕」がすべてを後悔したように書き換える箇所】</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>た。粉を中れ厚にそ言うたれけうたとの度 々を一でを紙行の遅わたしどを起そ に開寝のづ前いれ僕こでし母をききた 押一い台箱でに時たはと構い根た。の つ取た上取大はだ僕床をわで掘り僕 ぶりそにつきそたとおれに僕業はだも してせとつとつ入しおに掘立とも僕 し、てびとだてりくいキリちいう償 ま指ヨ、色食がは思てス聞去うこ っウのその堂もとつくだこつこい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px; flex-grow: 1;"> <p>「チョウを一つ一つ取り出し、指で粉々につぶしてしまった。」という行為が、「『僕』が犯したすべての行為を後悔するための行為」だとなるよう、~~~~の箇所を書き換える。</p> </div> </div> </div>	<p>・ 前時の学習で、ほとんどの生徒が「『僕』は自分が犯した罪を後悔している。」ととらえていることから、それとは対立する内容を学習課題とすることで、作品全体を客観的に振り返られるようにする。</p> <p>・ 「『僕』が犯した罪」と「後悔していること」が一致しているかどうかを生徒に問いかけることで、作品中の内容を客観的に考えられるようにする。</p> <p>・ 「僕」の成長を表すためには、どこを、どのように書き換えたらよいか考えるよう助言する。</p>

【表現する】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点
三	1	<div data-bbox="347 342 751 618" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>『僕』がすべてを後悔している」ように、作品の最後の段落を書き換えよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時を振り返り、書き換えるポイントを確認する。 2 作品を書き換える。 3 書き換えた作品を友達と読み合う。 	<p>・「チョウを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった。」という行為が、『僕』がすべてを後悔している」行為となるよう書き換えられるようにする。</p> <div data-bbox="379 976 1337 1917" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">【書き換えた生徒の作品（例）】</p> <p>〈生徒A〉</p> <div data-bbox="480 1122 1283 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エーミールの物を盗んでしまったことにも、美しいエーミールのチョウをつぶしてしまったということにも、僕は情けなく、申しわけない気持ちでいっぱいだった。僕の犯してしまったことは、とても最低なことだったということを感じた。寝台に載せた厚紙の箱を暗い気持ちで開いた。エーミールに対して、つぶしてしまったチョウに対して、せめて償いになってほしいと、僕はチョウ集めはしないと決めた。</p> </div> <p>〈生徒B〉</p> <div data-bbox="480 1429 1283 1637" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>僕は家に帰る途中、自分が犯した罪をもう一度考えた。すると、考えれば考えるほど、エーミールが言った言葉が正しく思えてきた。そして僕は、「なぜあんな償いのできないことをしたんだろう。」と思った。家について母に何か言われたが、「今は一人になりたいから。」と言って、食堂に行き宝物が入った大きなとび色の箱を取って、寝台にのせ、そっと開けた。</p> </div> <p>〈生徒C〉</p> <div data-bbox="480 1704 1283 1877" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>僕は気力を失い、トボトボと家へ帰った。エーミールからの信頼もなくなしてしまった。そして、チョウを盗んだことを謝れなかった自分を恥ずかしく思った。大好きだったチョウ集めを自分の手で嫌な思い出へと変えてしまったのだ。「もうチョウ集めをする資格などない。」そう思い、大きなとび色の厚紙の箱を持ってきて、開いた。</p> </div> </div>

2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「僕」とエーメールに対する印象をまとめよう。</p> </div> <p>1 作品を読み直し、「僕」とエーメールに対する印象をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初読時と同様に、二人の登場人物に対する印象（「+（よい印象）」、「±（どちらでもない）」、「-（悪い印象）」とその理由（根拠）を表させることで、生徒の読みの変容を捉える。 															
<p>【生徒のもった印象】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 45%;">「僕」に対する印象</th> <th style="width: 50%;">エーメールに対する印象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">+</td> <td>(初読時9人 → 本時0人) (初読時14人 → 本時7人)</td> <td>(初読時4人 → 本時0人) (初読時11人 → 本時27人)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">±</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 「僕」がやったことは悪いことだったけど、最初の場面で、「自分でその思い出をけがしてしまった。実際話すことも恥ずかしいことだ。」と言っているのので、「僕」は自分が犯した罪を最終的には反省していると思うから。 「僕」がやったことは悪いことだが、幼い少年であれば仕方ないと思うから。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自分の大切なチョウを盗まれて、壊されてしまったエーメールの気持ちも分かるが、僕への接し方があまりにも冷たいから。 エーメールはチョウを大事に扱っているが、僕のチョウに難癖をつけるし、「僕」を許そうとする気持ちが少しもないから。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>(初読時11人 → 本時27人)</td> <td>(初読時19人 → 本時7人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自分が犯した罪を最後まで謝れなかったし、自分のことしか考えていないから。 エーメールに二度も謝るチャンスがあったのに、謝らなかったから。 最後まで自分中心で物事を考えていて、エーメールやお母さんに迷惑をかけているから。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 「僕」がもっているチョウを悪く言ったり、さらに冷淡に構えて「僕」を軽蔑的に見つめたりするのはひどいと思うから。 エーメールが言っていることは正論だが、あそこまで人に不快な思いを与える必要はないと思うから。 </td> </tr> </tbody> </table>				「僕」に対する印象	エーメールに対する印象	+	(初読時9人 → 本時0人) (初読時14人 → 本時7人)	(初読時4人 → 本時0人) (初読時11人 → 本時27人)	±	<ul style="list-style-type: none"> 「僕」がやったことは悪いことだったけど、最初の場面で、「自分でその思い出をけがしてしまった。実際話すことも恥ずかしいことだ。」と言っているのので、「僕」は自分が犯した罪を最終的には反省していると思うから。 「僕」がやったことは悪いことだが、幼い少年であれば仕方ないと思うから。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の大切なチョウを盗まれて、壊されてしまったエーメールの気持ちも分かるが、僕への接し方があまりにも冷たいから。 エーメールはチョウを大事に扱っているが、僕のチョウに難癖をつけるし、「僕」を許そうとする気持ちが少しもないから。 	-	(初読時11人 → 本時27人)	(初読時19人 → 本時7人)		<ul style="list-style-type: none"> 自分が犯した罪を最後まで謝れなかったし、自分のことしか考えていないから。 エーメールに二度も謝るチャンスがあったのに、謝らなかったから。 最後まで自分中心で物事を考えていて、エーメールやお母さんに迷惑をかけているから。 	<ul style="list-style-type: none"> 「僕」がもっているチョウを悪く言ったり、さらに冷淡に構えて「僕」を軽蔑的に見つめたりするのはひどいと思うから。 エーメールが言っていることは正論だが、あそこまで人に不快な思いを与える必要はないと思うから。
	「僕」に対する印象	エーメールに対する印象															
+	(初読時9人 → 本時0人) (初読時14人 → 本時7人)	(初読時4人 → 本時0人) (初読時11人 → 本時27人)															
±	<ul style="list-style-type: none"> 「僕」がやったことは悪いことだったけど、最初の場面で、「自分でその思い出をけがしてしまった。実際話すことも恥ずかしいことだ。」と言っているのので、「僕」は自分が犯した罪を最終的には反省していると思うから。 「僕」がやったことは悪いことだが、幼い少年であれば仕方ないと思うから。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の大切なチョウを盗まれて、壊されてしまったエーメールの気持ちも分かるが、僕への接し方があまりにも冷たいから。 エーメールはチョウを大事に扱っているが、僕のチョウに難癖をつけるし、「僕」を許そうとする気持ちが少しもないから。 															
-	(初読時11人 → 本時27人)	(初読時19人 → 本時7人)															
	<ul style="list-style-type: none"> 自分が犯した罪を最後まで謝れなかったし、自分のことしか考えていないから。 エーメールに二度も謝るチャンスがあったのに、謝らなかったから。 最後まで自分中心で物事を考えていて、エーメールやお母さんに迷惑をかけているから。 	<ul style="list-style-type: none"> 「僕」がもっているチョウを悪く言ったり、さらに冷淡に構えて「僕」を軽蔑的に見つめたりするのはひどいと思うから。 エーメールが言っていることは正論だが、あそこまで人に不快な思いを与える必要はないと思うから。 															

3 成果

- 「登場人物が犯した罪」と「後悔している内容」が一致していないことに着目させたことで、生徒は、作品の内容を客観的にとらえ直すことができた。
- 第二次第1時において、生徒の考えとは逆の視点からの学習課題を設定したことで、生徒は作品を分析的に読み進めることができた。
- 作品を書き換える学習を設定したことで、生徒は論理的な文章について理解することができた。

4 課題

- 生徒自らが、作品の矛盾点や表現上の工夫等に気付くことができる学習を検討していく必要がある。
- 文章の構成や展開、表現の特徴等を分析的にとらえるとともに、それらを批判できるようにするための学習に発展させていく必要がある。

【授業研究3】高等学校第3学年現代文「登場人物の心情や状況を客観的にとらえよう」
『形』

1 目標

- 場面ごとの展開に関心を持ち、登場人物の心情や状況をとらえようとする。
- 登場人物の状況を客観的・分析的にとらえ、作品に対しての自分の考えを深めることができる。
- 慣用表現や歴史小説特有の表現上の特色について理解することができる。

2 授業の実際

【読んで】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点
一	1	1 作者，作品の確認をする。 2 本文の朗読CDを聞く。 3 単元の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 小説の流れをつかみ、なぜ中村新兵衛は死んだのか、その理由を考えよう。 </div> 4 ワークシートに初読の感想等をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の作者解説を読んで確認する。 ・文章の雰囲気やあらすじをつかませる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【本時に用いたワークシートの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品のジャンルや第一印象を書き留める。 ・分からなかった語句や慣用表現，文などを書き留める。 ・結末はどのようなになったのかを確認する。 →「なぜ中村新兵衛は死んだのか」という点を考えていくことを確認する。 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【生徒が書いた初読の感想（抜粋）】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>4 中村新兵衛は最後、どのようになりましてか。読み取ったことを書いてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殺されてしまった。 ・槍で腹を貫かれた。 </div> <div style="width: 30%;"> <p>3 この小説で、何か気になるところや、わからない表現があれば、そこを抜き出しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝魂 ・戦わずして、浮き足立った。 ・勝手が違っていい。 </div> <div style="width: 30%;"> <p>2 この小説を読んで、どのような印象を受けましたか。第一印象を書き留めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敵の先入観で勝っていたところもあるが、新兵衛自身は別に弱くなかったはず ・中村新兵衛は強い人物なのだと思った。 ・気をそらしたせいで脾腹を貫かれてしまった気がする。 </div> </div> </div>			

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点
二	1	<div data-bbox="347 271 751 456" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>登場人物「中村新兵衛」と「若い士」について、それぞれどのような人物であるか、図を用いてとらえよう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 「第1段落」の猩々緋の服折、唐冠纒金の兜の特徴をつかむ。 2 「第2段落」の「若い士」が「中村新兵衛」に頼んだことを確認する。 <div data-bbox="379 719 1337 1413" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【提示したイメージ図】</p> </div>	

【考えて】【表現する】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点
三	1	<div data-bbox="347 309 746 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>服折や兜を貸したこと以外で（「形」以外で）、新兵衛が命を落とすことになった原因・理由を探ろう。 ～結末を書き換える活動を通して～</p> </div> <p>1 ワークシートの内容を確認する。</p> <div data-bbox="379 712 1337 1303" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【本時で用いたワークシート】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>敵の突き出した槍が、緘の裏をかいて彼の脾腹を貫こうとした。しかし、何とか敵の槍を避け、自分の陣地へと戻ることができたのだった。</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>本文</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>書き換えることを記入する部分</p> </div> <p>本文</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>課題</p> </div> <div style="width: 15%; text-align: right;"> <p>書き換え用ワークシート</p> </div> </div> </div> <div data-bbox="443 1370 1273 1639" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">～書き換える際の条件～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新兵衛の気持ちを書き換えること ・ゴシック体の部分に変更しないこと ・新兵衛の「形」の部分に変更しないこと ・「油断」、「用心」、「過信」、「気を引き締める」、「気のゆるみ」等の観点で書き換えること（書き換えができない生徒に対する助言） </div> <p>2 作品を書き換える。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を（3・4段落部分、間隔をあけて）掲載する。 ・結末部分は波線を引き、「敵の突き出した槍が、緘の裏をかいて彼の脾腹を貫こうとした。しかし、何とか敵の槍を避け、自分の陣地へと戻ることができたのだった。」と書き換えておく。 <div data-bbox="810 1697 1369 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">〈教師の発問〉</p> <p>書き換える本文に線を引き、結末に合うように書き換えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・T Tで机間指導を行う。 ・書き換える部分について、ワークシートの本文に線を引き、その横に書き換えた文章や書き加えた文章を書き込ませる。

【生徒の書き換え、書き加え】（太字は本文の抜粋部分）

「会心の微笑を含みながら、猩々緋の武者の華々しい武者ぶりを眺めていた。」

→「いつもより気を引き締めて若い士の活躍を見守っていた。」
→「それを見て、新兵衛は気を引き締めて戦おうと思った。」
→「ここは戦場だと思い直し、敵をにらみつけた。」

「そして自分の形だけすらこれほどの力を持っているということに、かなり大きい誇りを感じていた。」

→「自分も油断せずまいこうと思った。」
→「しかし新兵衛は自分の形や若い士に負けられはしないと気を高めた。」

「彼は二番槍は、自分が合わそうと思ったので、駒を乗り出すと、一文字に敵陣に殺到した。」

→「周囲の状況を見ながらチャンスを探って馬に乗って走り出した。」

3 書き換えた部分をグループで読み合う。

- ・グループで書き換えた部分を発表し合い、ワークシートに他者の文章を書き加える。
- ・付箋に自分の文章を書き込み、班のメンバーに渡す。渡された付箋をワークシートに貼り付け、比べて読むことにより他者の視点を知る。



「形」とはどういうものか。また、「外見」と「内実」がどのような関係にあると考えられるか。作品を通して考えを深めよう。

- 1 書き換えた部分について、なぜそのように書き換えたのか、理由をまとめる。(個人)
- 2 前時と同じグループで、理由を発表し合う。さらに、前時の書き換えの決め手となったキーワードを挙げる。
(グループ)
- 3 この作品を通して、私たちにとって「外見」や「内実」とはどのような意味をもつものなのか、自分なりの考えをまとめる。(個人)

【ワークシートに書かれたキーワードと意見文の例】

「形」って、何だろう。外見・内実

- ・自分を過信したり、油断をしたり、無用心だったりするとたとえ得意なことでも失敗してしまう。
- ・人は外見で判断されてしまうので、外見をしっかりとった方がいい。もちろん内実も大切にしたい方がいい。

(3年生になって就職や進学をするので特にしっかりとった方がいい)

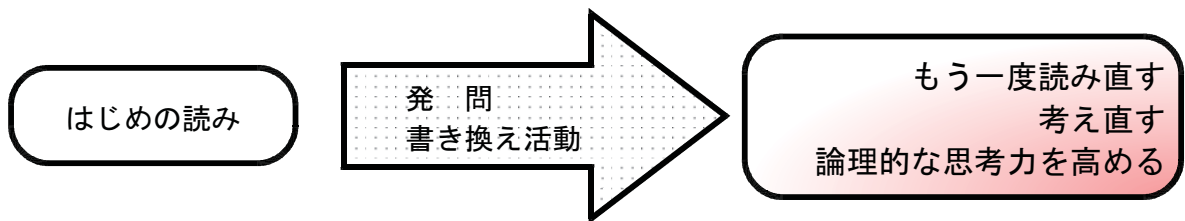
みんなの書き換え・書き加えを読んでも新兵衛の、気持ちの面で欠けていたところは何か。

- ・気を引き締めて
- ・負けじ根性
- ・油断していたところ
- ・自分も「形」に頼っていた
- ・過信があった
- ・用心していなかった

命を落とすことになった理由・原因 ←

3 成果

- ・一読後の「新兵衛が命を落としたのは、若い士に服折や兜を貸したことに起因している。」との生徒の考えに対し、「原因は、それだけであろうか」という発問を投げかけたことで、生徒は、作品を客観的、分析的に読むことができた。
- ・結末を書き換える学習を設定したことで、生徒は、自分の考えを論理的に表現することができた。
- ・第二次第2時から第三次第1時において、「外見」と「内実」の両面から、結末に至った原因を考察したことで、生徒は主題を深く考えることができた。



4 課題

- ・生徒が、更に思考をはたらかせることができる学習課題や発問について検討していく必要がある。
- ・読んで考えたことを基に、翻案したり論じたりする学習についても、検討していく必要がある。

【授業研究 4】 小学校第 6 学年「新聞記事の事実をおさえて、自分の考えをもとう」

『乗り過ごし副検事、特急止める』

『JR 快速が温情停車、乗り間違え受験生救う』

1 目標

- 書き手の意図と新聞の書き方との関係を考えようとする。
- 二つの新聞記事に書かれている事実の類似点と編集の仕方の相違点をとらえることができる。
- 新聞記事には、書き手の意図が反映されている場合があることを理解することができる。
- 二つの新聞記事の構成を理解することができる。

2 授業の実際

【読んで】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点																																
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>二つの新聞記事を読んで感想を書こう。</p> </div> <p>1 資料を読んで、感想を述べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ、資料 A は否定的な感想，資料 B に対しては共感的な感想になるよう意図的な助言を行う。 																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">【資料 A】</th> <th colspan="4">【資料 B】</th> </tr> <tr> <th>その他</th> <th>結び</th> <th>内容</th> <th>見出し</th> <th>その他</th> <th>結び</th> <th>内容</th> <th>見出し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会通念上、許されるケース</td> <td>副検事の上司が、謝罪を述べた</td> <td>間停に車め合して通った。予判の間、無事裁に時</td> <td>し副検事に非があるような見出し</td> <td>特例の措置</td> <td>お母親が述べた JR の対応に対して</td> <td>無事入試に間に合った。予判の</td> <td>見出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>降車検事をが判にり向かす途中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>たか子中学の電車が、乗客に迷惑を及ぼすのを防ぐため、無事入試に間に合った。</td> <td>JR の措置に賛同するような</td> </tr> </tbody> </table>				【資料 A】				【資料 B】				その他	結び	内容	見出し	その他	結び	内容	見出し	社会通念上、許されるケース	副検事の上司が、謝罪を述べた	間停に車め合して通った。予判の間、無事裁に時	し副検事に非があるような見出し	特例の措置	お母親が述べた JR の対応に対して	無事入試に間に合った。予判の	見出し			降車検事をが判にり向かす途中				たか子中学の電車が、乗客に迷惑を及ぼすのを防ぐため、無事入試に間に合った。	JR の措置に賛同するような
【資料 A】				【資料 B】																															
その他	結び	内容	見出し	その他	結び	内容	見出し																												
社会通念上、許されるケース	副検事の上司が、謝罪を述べた	間停に車め合して通った。予判の間、無事裁に時	し副検事に非があるような見出し	特例の措置	お母親が述べた JR の対応に対して	無事入試に間に合った。予判の	見出し																												
		降車検事をが判にり向かす途中				たか子中学の電車が、乗客に迷惑を及ぼすのを防ぐため、無事入試に間に合った。	JR の措置に賛同するような																												

<p style="text-align: center;">【資料Aに対する感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくら裁判に間に合わないからといって、電車を臨時停車させるのはおかしい。 ・乗り過ごしたのは自分のせいなのに、人に迷惑をかけるのはよくない。 ・自分勝手すぎる。 	<p style="text-align: center;">【資料Bに対する感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子中学生が高校入試に間に合っただけよかった。 ・女子中学生の周りには、優しい人がたくさんいた。 ・女子中学生の将来を考えて、臨時停車を決めたJRの人は優しい。
---	---

2
の
前
半

二つの新聞記事を比べよう。

1 資料Aと資料Bの内容をワークシートの項目に沿って整理する。

- ・資料A、Bを上下に並べて板書し、比較できるようにすることで、ほぼ同様の内容の出来事であることが容易につかめるようにする。
- ・表現方法や言葉に着目するよう助言する。

【教師の主な発問と児童の反応】 (T: 教師, C: 児童)

T: 資料Aの出来事は、どんな出来事でしたか。
 C: 悪い出来事です。
 T: 資料Bの出来事は、どんな出来事でしたか。
 C: よい出来事です。
 T: そうでしたね。では、この悪い出来事の内容とよい出来事の内容を、ワークシートの項目ごとに整理し、比べてみましょう。

【ワークシートへの児童の記載内容】

	資料A	資料B
場 所	電車内	電車内
人 物	時間に遅れそうになっている人	時間に遅れそうになっている人
出来事	通過予定の駅で電車を臨時停車してもらった	通過予定の駅で電車を臨時停車してもらった
原 因	大切な用事に間に合わせるため	大切な用事に間に合わせるため
結 果	間に合った	間に合った
判 断	社会通念上、許されるケース	特例の措置

【考えて】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点									
	2 の 後 半	<p>2 同じ内容の出来事であるにもかかわらず、感想が異なる原因を考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>(2) グループで話し合う。</p> <p>(3) 全体で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想をもつきっかけとなった言葉は何かを考えるよう助言する。 ・「見出し」、「取り上げているインタビュー」の違いに目を向けられるようにする。 									
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">【資料Aと資料Bとの違い】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">資料A</th> <th style="width: 45%;">資料B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">見出し</td> <td>・特急止める</td> <td>・温情 ・救う</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">インタビュー</td> <td>・謝罪した ・「関係者の皆様にご迷惑をおかけし、心からおわびします」</td> <td>・お礼の電話 ・「おかげさまで娘も何とか試験開始に間に合いました」</td> </tr> </tbody> </table> </div>					資料A	資料B	見出し	・特急止める	・温情 ・救う	インタビュー	・謝罪した ・「関係者の皆様にご迷惑をおかけし、心からおわびします」	・お礼の電話 ・「おかげさまで娘も何とか試験開始に間に合いました」
	資料A	資料B										
見出し	・特急止める	・温情 ・救う										
インタビュー	・謝罪した ・「関係者の皆様にご迷惑をおかけし、心からおわびします」	・お礼の電話 ・「おかげさまで娘も何とか試験開始に間に合いました」										
		<p>(4) 見出しと取り上げるインタビューの効果について考える。</p>										
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">【教師の主な発問と児童の反応】</p> <p>T：なぜこんなにも感想が異なってしまったのでしょうか。</p> <p>C：資料Aは、「副検事が特急を止めた」と書いてありますが、資料Bは、「救う」と書いてあります。</p> <p>T：それはどこに書いてありましたか。</p> <p>C：見出しです。</p> <p>T：では、見出しを見てみましょう。ほかに気付いたことはありますか。</p> <p>C：資料Bには、「温情」と書いてあります。</p> <p>T：そうですね。見出し以外で、何か気付いたことはありますか。</p> <p>C：資料Aには、「謝罪した」と書いてあります。</p> <p>T：インタビューのところですね。資料Bはどうですか。</p> <p>C：「おかげさまで娘も何とか試験開始に間に合いました」と「お礼の電話」があったと書いてあります。</p> <p>T：それに対して、資料Aはどうですか。</p> <p>C：「ご迷惑をおかけし、心からおわびします」と、謝っているインタビューが書いてあります。</p> <p>T：もし、資料Aに、資料Bと同じような見出しやインタビューが書かれていたらどうですか。今までの感想とは違ってきませんか。</p> <p>C：（違ってくると半数以上が挙手をする。）</p> <p>T：同じ内容の出来事なのに、感想が異なってしまった原因はどこにあるのでしょうか。</p> <p>C：見出しや取り上げるインタビュー、記事の書き方の違いだと思います。</p> <p>T：見出しやインタビュー、記事の書き方が、なぜ違っていると思いますか。</p> <p>C：資料Aは、書き手が悪い出来事として書こうと考えていて、資料Bは、書き手がよい出来事として書こうとしているのだと思います。</p> <p>C：資料Aも資料Bも、どんな記事にしようかという書き手の気持ちや考えが入っているのだと思います。</p> <p>T：新聞には書き手の気持ちが見えないようだけれど、実は表れているんですね。</p> </div>												

【表現する】

次	時	主な学習内容・活動	指導上の留意点												
二	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>新聞記事を書き換えよう。</p> </div> <p>1 新聞記事を書き換える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 A を共感的な記事に書き換える。 													
<p>【児童が書き換えた主な例】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>新聞の書き方</th> <th>児童の書き換え例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">見出し</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り過ごし副検事，特急止める </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ J R が副検事救う ・ J R 特急温情停車，乗り過ごし副検事救う ・ J R 温情停車で救われる ・ J R が救う ・ 臨時停車で裁判間に合う </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">インタビュー</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「関係者の皆様にご迷惑をおかけし，心からおわびします」 ・ 謝罪した </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「関係者のおかげで，裁判に間に合いました」 ・ 「おかげさまで公判に間に合いました。ありがとうございます」 ・ 「関係者の皆様に心から感謝いたします」 ・ お礼の言葉を述べた ・ お礼の電話があった ・ (……と) 話している </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">書き方</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時停車させていた ・ 1分程度の遅れが出た ・ 「何とか止めてもらえないか」 ・ J R の内部基準では…… ・ 同支社の広報室長は…… </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時停車してもらっていた ・ 臨時停車させる特例措置がとられた ・ 1分程度しか遅れが出なかった ・ しかし，1分程度の遅れしか出なかった ・ 「何とか止めてもらえないでしょうか」 ・ 「何とか止めていただけないか」 ・ (削除) ・ 「これで裁判が無事に終わってくれば」と話している (追記) </td> </tr> </tbody> </table>					新聞の書き方	児童の書き換え例	見出し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り過ごし副検事，特急止める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R が副検事救う ・ J R 特急温情停車，乗り過ごし副検事救う ・ J R 温情停車で救われる ・ J R が救う ・ 臨時停車で裁判間に合う 	インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「関係者の皆様にご迷惑をおかけし，心からおわびします」 ・ 謝罪した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「関係者のおかげで，裁判に間に合いました」 ・ 「おかげさまで公判に間に合いました。ありがとうございます」 ・ 「関係者の皆様に心から感謝いたします」 ・ お礼の言葉を述べた ・ お礼の電話があった ・ (……と) 話している 	書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時停車させていた ・ 1分程度の遅れが出た ・ 「何とか止めてもらえないか」 ・ J R の内部基準では…… ・ 同支社の広報室長は…… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時停車してもらっていた ・ 臨時停車させる特例措置がとられた ・ 1分程度しか遅れが出なかった ・ しかし，1分程度の遅れしか出なかった ・ 「何とか止めてもらえないでしょうか」 ・ 「何とか止めていただけないか」 ・ (削除) ・ 「これで裁判が無事に終わってくれば」と話している (追記)
	新聞の書き方	児童の書き換え例													
見出し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り過ごし副検事，特急止める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R が副検事救う ・ J R 特急温情停車，乗り過ごし副検事救う ・ J R 温情停車で救われる ・ J R が救う ・ 臨時停車で裁判間に合う 													
インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「関係者の皆様にご迷惑をおかけし，心からおわびします」 ・ 謝罪した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「関係者のおかげで，裁判に間に合いました」 ・ 「おかげさまで公判に間に合いました。ありがとうございます」 ・ 「関係者の皆様に心から感謝いたします」 ・ お礼の言葉を述べた ・ お礼の電話があった ・ (……と) 話している 													
書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時停車させていた ・ 1分程度の遅れが出た ・ 「何とか止めてもらえないか」 ・ J R の内部基準では…… ・ 同支社の広報室長は…… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時停車してもらっていた ・ 臨時停車させる特例措置がとられた ・ 1分程度しか遅れが出なかった ・ しかし，1分程度の遅れしか出なかった ・ 「何とか止めてもらえないでしょうか」 ・ 「何とか止めていただけないか」 ・ (削除) ・ 「これで裁判が無事に終わってくれば」と話している (追記) 													
		<ul style="list-style-type: none"> ・ (発展) 資料 A，B の出来事が，同日，同時刻に起きたものとして記事を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き終わった児童に対しては，(発展) について書いてみるよう助言する。 												

2 書き換えた新聞記事を発表する。

3 これまでの授業の感想を書く。

【学習後の児童の感想】

- ・新聞を読むと、これはいい話だなとかあまりいい話ではないなとか思うときがあるけど、こういう感想は、書き手の書き方で変わってくる場合もあることが分かった。
- ・記事は書き手の気持ちや考えが出ていないように見えているが、実際は出ているんだと初めて分かった。
- ・新聞などは、書き方で感じ方が変わるということが分かった。
- ・使う言葉を変えただけで、こんなに伝わり方が変わるんだなあと思った。
- ・新聞の内容は一緒でも、書き方が違うだけで、読んだときの感じ方が分かれることが分かった。
- ・二つの記事を読み比べて、新聞の書き方一つでこんなに感想が変わるとは思わなかった。
- ・見出しを変えるだけでも、感じ方が変わることにびっくりした。
- ・新聞では、記事に出てくる人物を悪く書いてあったり、よく書いてあったりするが、それは書き手の考えが違うだけで、本当は悪くもよくもないのかもしれないと思った。
- ・二つの新聞記事の内容はほぼ同じなのに、書き手の気持ちや考え、書き方によって新聞を読んだ感想が大きく違ってしまうということが分かった。
- ・新聞記事は同じような内容の事件でも、書き方によって感じ方が違って来るのだということが分かった。
- ・新聞は、書き手の意図でこんなに感じるものが違うなんて考えたこともなかったので、これからは書かれている内容をよく読んで、本当に悪いことなのか、よいことなのかを考えるようにしたい。

3 成果

- ほぼ同様の内容の新聞記事を比べたことで、同じ出来事の場合であったとしても、編集の仕方や記事の書き方によって、感じ方が違うことに気付くことができた。
- 「見出し」や「取り上げたインタビュー」の違いに着目したことで、新聞記事には、書き手の意図が反映していることを理解することができた。
- 新聞記事を書き換える学習を設定したことで、理解したことの定着、深化を図ることができた。

4 課題

- 説明的文章の解釈及び文学的文章の解釈においても、表現や描写などから書き手の意図を考える学習を設定していく必要がある。
- インターネットのホームページや雑誌、パンフレットなどの多様なメディアを取り上げた学習に発展させていく必要がある。
- 異なるメディア同士の比較などを通して、各メディアの特性を理解したり、自分の表現に生かしたりする学習に発展させていく必要がある。

《出典》

「乗り過ごし副検事，特急止める」 読売新聞 平成20年1月29日

「JR快速が温情停車，乗り間違え受験生救う」 読売新聞 平成15年2月5日

3 研究のまとめ

(1) 成果

以上の授業研究により、「内容をとらえる（読んで）」、「論理的に思考する（考えて）」、「内容を再構成したり、考えを論じたりすることを通して、論理的に表現する（表現する）」授業を創造することができた。

その結果、下記にあるように、児童生徒は、書かれている内容を客観的・分析的にとらえるとともに、自分の考えを論理的に整理し直すことができるようになるなど、思考力、判断力、表現力をはぐくむことができたと考ええる。



(2) 今後の課題

- ・児童生徒が思考力を働かせることができるようになるための学習課題や発問について，更に検討していきたい。
- ・児童生徒自らが，書かれている文章の特徴や工夫点に着目し，分析的・客観的に読むことができる手立てについて検討していきたい。
- ・読んで考えたことを深めるための「交流」の手立てについて検討していきたい。
- ・様々な形態の文章を取り上げた「読んで，考えて，表現する」学習に発展させていきたい。

関係者一覧

1 研究協力員

つくば市立大曾根小学校	教諭	園田	好弘
桜川市立岩瀬小学校	教諭	安達	和宏
守谷市立けやき台中学校	教諭	大越	茂
県立磯原郷英高等学校	教諭	佐藤	恵美

2 茨城県教育研修センター

	所長	中村	一夫
教科教育課	課長	橋本	清明
同	指導主事	小林	正敏
同	指導主事	石塚	照美